

[DAS 招待講演]

高速インターフェース規格の変遷と実装回路技術の特徴、 及び車載向け LSI へのソフトウェア対策の必要性

小松 義英

パナソニック デバイスシステムテクノ株式会社

概要：

超高解像度 8K ディスプレイソリューションは、家電だけでなく放送、医療、デジタルサイネージの産業分野に広がりつつある。長距離接続が必要な光ファイバケーブルは大容量ビデオデータ転送に適していることは基より、家電製品では依然として低域から高域までの広い周波数レンジに多種デバイスが存在するため、さまざまなメタルケーブル通信規格が存在している。また近年、車載向け LSI としては機能安全規格(ISO26262)への対応がカーメーカーから要請されており、ビジネス参入の必須条件となっている。ソフトウェア対策が高速インターフェースにも必要になってくる可能性についても紹介する。